

# 沖縄 までの旅

小学6年生

8月9日～12日



平成28年度 沖縄までの旅  
読谷村・飯館村教育委員会 平成28年8月9日～12日



カナダで日本酒を作っている白木さんの畑で農業体験



中学生が飛ぶ  
**未来への翼**  
カナダ研修  
7月21日～30日



世界中から人が集まる観光都市ウイスラーのウイスラー山頂で



沖縄で知る・学ぶ・感じる旅  
「沖縄までの旅」では、小学6年生42人が、戦争を経験した地・沖縄で、自然や文化、命・平和の大切さを学びました。今年参加した子どもたちのうち、10人は村外学校からの参加で、旧友との再会を喜ぶ場面もありました。首里城や平和祈念公園の見学、沖縄の魔よけ「シーサー」作り、読谷村の方々との交流などを通して学びを深めていました。

このうち、旅の2日目には、戦時中に避難場所として使われた「ガマ」と呼ばれる自然洞窟を訪問。地元の方から、沖縄戦当時の様子やガマの中に大勢の人々が避難をしていたことなどの説明を受けました。子どもたちは、今も遺品が残るガマの中で黙とうを行い、戦争で亡くなった方の安らかな眠りを祈り、平和を誓いました。

参加した大河内菜月さん(草野小)は「戦争の悲しさつらさが分かりました。一番楽しかったのは海水浴です」と沖縄の旅を振り返って話していました。



美ら海水族館ではジンベエザメやエイなど大型魚を見学



オリジナルシーサー作りに挑戦!



港町ステイブストンで日系人の歴史を学びました



読谷村では、飯館村の現状について紹介しました



明かりのないガマで懐中電灯を使って見学

カナダで学ぶ未来への鍵  
「未来への翼」が、7月21日から30日まで、8泊10日の日程で、「未来の翼」事業初となるカナダで行われました。

研修では、中学生11人(村仮設中学校に通う7人と村外学校に通学する4人)が、「世界グリーンな都市」を目指すバンクーバーで同年代の生徒らとピクニックで交流し、自然を生かした観光都市ウイスラーでは、日本酒製造業を営む日系人・マサ白木さんの農場で、農業体験を行いました。

また、一般家庭に宿泊したホームステイでは、カナダの家庭料理や風土を体験し、日本との違いを肌で感じてきました。ホームステイの最終日には、中学生が受け入れ先家族を招待し、日本から準備してきたペーゴマやけん玉、よさこいの踊りを披露して、感謝の気持ちを伝えました。